

『熊谷の子どもたちは、これができます!』

4つの裏技 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気で返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

3減運動 プレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

別府小だより

No. 4 令和5年6月26日

学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成

進んで学習する子 他人を思いやる子 体力・活力のある子



当たり前のことを当たり前にする

熊谷市立別府小学校長 安藤 咲恵

あじさいが美しく咲き、夏の花たちもぐんぐん背丈を伸ばしています。さて、あと約1か月経つと、子供たちが待ちに待った夏休みがやってきます。そこで、これまでのまとめと楽しい夏休みを迎えるために、「当たり前のことを当たり前にする」ということについて、三つの話をします。

一つ目は、**あいさつ**です。元気な気持ちの良いあいさつをすると、みんなが気持ちよくなります。朝、学校の正門で、元気なあいさつができる人が、別府小学校にはたくさんいます。素晴らしいことです。

恥ずかしがらずにする秘訣は、まず、あいさつをする人を見て、はじめにおじぎをすることです。そして、「おはようございます。」と声を出すことです。ぜひやってみましょう。あいさつをすることを当たり前と思っている人は、当たり前になります。皆さんも、当たり前にあいさつができるようになってください。そして、夏休み中も、家でもどこでも、気持ちの良いあいさつができるようにしてみましょう。

二つ目は、**時間を守る**ということです。学校では、チャイムが鳴ります。これは、勉強や休み時間の終わりや始まりを知らせる合図です。みんながこの合図にしたがって、動きます。当たり前のことです。ところが、この合図を守らなかったらどうでしょう。勉強しようとしても、お友だちも先生もばらばらで、好き勝手なことをして一緒に勉強することもできません。クラスみんなが、それぞれに時間を守ることが大事なことであり、当たり前のことなのです。

夏休みになります。家ではチャイムはありません。どうしたらいいでしょう。まずは、規則正しい生活リズムをつくることです。自分で時間を守ることができれば、きっと楽しい夏休みが過ごせるでしょう。

三つ目は、**ゴミはゴミ箱へ捨てる**ということです。教室や階段、廊下にゴミは落ちていませんか。ゴミはゴミ箱に捨てるということが当たり前なのです。ゴミは、最初からゴミとしてあるわけではないのです。みんなが、使った後にゴミ箱に捨てれば、ゴミは落ちていないはずなのです。

家でも、ゴミ一つない整った場所で勉強を始めると、集中して取り組むことができます。夏休みの課題を、整理整頓した部屋で、整った気持ちでできるようにしましょう。

この3つのことをもう一度見直し、夏休み前のまとめをしましょう。そして、当たり前のことが、当たり前になり、楽しい夏休みになるよう願っています。

【150周年記念事業 原口元気選手の特別講演】

6月16日(金)、本校卒業生 ドイツのプロサッカーリーグで活躍している原口元気選手の特別講演を行いました。原口元気選手から、「夢を実現するための努力」や「好きなことを続けるすばらしさ」を教えていただきました。子供たちは、原口選手の話す言葉一つ一つを聞き漏らすまいという真剣さがありました。また見事な足技に、目を輝かせながら、見入っていました。原口元気選手が来てくださり、別府小学校が笑顔でいっぱいになりました。開催にあたり、ご尽力いただきました皆様、ありがとうございました。

原口元気選手が、笑顔で子供たちの気持ちに伝えてくださり、感謝いたします。別府小学校一同、たくさんの感謝を込めて、ドイツまで届くように、エールを送ります。

6月10日(土)、資源回収及び奉仕作業(トイレ清掃)に、保護者の皆様、PTA 役員の皆様、おやじの会の皆様、地域の皆様から、ご協力いただきました。ありがとうございました。

